

令和6年度 小国小学校学校評価用紙（学校関係者評価）

評価者氏名（ ） ※記名は任意です。

評価は4点満点で採点

3.5以上はA

3以上はB+

2. 5以上はB

2以上はC+

1以上はC

1未満はD

指導の重点		具体的実践事項		(1) 自己評価		保護者への問い		(2) 保護者	児童への問い		(2) 児童	(3) 学校関係者評価		
信頼される学校作り	教職員の資質と専門性の向上	教職員としての在り方を考え、不祥事防止に努める		A	A	本年度の授業参観等をご覧になって、先生たちの授業はわかりやすいと思いますか。		B+	先生たちのはなしはわかりやすいですか。		B+	A	→	A
		研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励等を通じた教師の主体的な資質向上・能力開発		A										
	情報公開と学校評価の充実	学年・学級通信をととして、児童の日常の様子を積極的に発信する		B+	A	本年度の学年だよりや学級だよりには、学級の様子が紹介されていますか。		A	学年だよりや学級だよりには、学級の様子がいかがいされていますか。		B+	A	→	A
		地域や保護者の意見や感想、評価を真摯に受け止め、指導の改善に生かす		A		本年度の先生たちは、家庭からの意見等を受け止めていますか。		B+						
確かな学力の育成	指導法の工夫改善	指導と評価の一体化を実現するために4つを整合させ、一本の軸で貫く授業構想の徹底		B+	B+							B+	→	B+
		児童生徒を「学びの主体」とするための指導の充実（学習規律と「かけはし学習」の徹底）		B+		本年度の授業参観等をご覧になって、児童は授業のルール（目を見て最後まで話を聞くなど）を守っていましたか。		B+	じゅぎょうのルール（目を見てさいごまで話を聞くなど）を守っていますか。		B+			
		家庭学習における主体的な学びの充実（小国っ子ノートの活用）		B+		本年度、お子様は、小国っ子ノートを活用していますか。		B+	小国っ子ノートを活用していますか。		B+			
		1単位の授業または学習のまとまりごとの定着確認の徹底		B+		本年度、お子様は、学習したことが身に付いてきていると感じますか。		B+	じゅぎょうでかくしゅうしていることが、わかったとかんじますか。		B+			
		個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの効果的な活用		A		本年度の授業参観等をご覧になって、授業の中でタブレット端末や電子黒板が活用されていましたか。		A	じゅぎょうの中で、タブレットをつかってしらべたり、はっぴょうしたりするかどうかがありますか。		B			
	英語・日本語教育	学校総体で取り組む、基礎的基本的事項の定着を図るための具体的な取組の充実		A	A	本年度の授業参観等をご覧になって、授業の中で児童同士が話し合う場面がありましたか。		B+	じゅぎょうの中で自分でしっかり考えたあと友だちと考えたことについて話し合うかどうかがありますか。		B+	A	→	A
	読書活動の充実	図書司書と連携し、教科等と関連させた並行読書、調べ学習を推進する		B+					としょかんの本をつかったしらべ学習をしたり、じゅぎょうにかんけいのある本を読んだりしたことがありますか。		B+			
		推薦図書・必読書、読書時間、目標冊数設定等を行い、家庭読書の推進を図る		B+	B+	本年度、お子様は、本を読むことが楽しいと感じ、すすんで本を読もうとしていますか。		B	本を読むことが楽しいとかんじ、すすんで本を読もうと思いますか。		B+	B+	→	B+
	キャリア教育・体験活動の充実	五者連携による小国の特色（ひと・もの・こと）を生かした教育活動の推進		B+		本年度、お子様は小国町のことを学習していると感じられますか。		B+	ことし、小国町のことを学習しましたか。		B+			
		キャリア教育で目指す資質・能力や態度の明確化及び共有のための研修の実施		B+										
豊かな心の育成	小国小「3つの約束」の徹底	発達段階に応じた「気持のよいあいさつ」及び「適切な返事」を身に付けさせる		B+	B+	本年度、お子様は気持ちのよいあいさつと返事をしていますか。		B+	きもちのよいあいさつやへんじをすることができましたか。		B+	B+	→	B+
		授業、集会、行事等において、「目を見て聞く」ことの徹底を図る		B+		本年度、お子様は人の話をしっかり聞くことができていますか。		B	話している人の目を見て聞くことができましたか。		B			
	いじめ・不登校への適切な対応	SOSの出し方に関する教育の実施と相談体制等の充実		A	B+	本年度の先生たちはいじめや不登校に対して、適切に対応していますか。		A	いやなことやつらいことがあったとき、せんせいたちは、そうだんをきいてくれますか。		B+	B+	→	A
		「「愛の1,2,3運動+1」の実施及び欠席10日目までには関係機関や専門家と連携した早期対応		B+		本年度は、日ごろの連絡や相談にもとづいて家庭と学校との連携が図れましたか。		B+						
	考え・議論する道徳教育の推進	道徳科授業力向上手引書及びリーフレット等を活用した授業実践（校内研修の実施）		B+	B+	本年度、道徳の授業参観等をご覧になって、授業の中で児童同士が話し合う場面がありましたか。		B+	どうとくのじゅぎょうの中で、友だちと話し合うことがありますか		B+	B+	→	B+
		「熊本の心」「つなぐ～熊本の明日～」の活用と授業公開を推進する		B					どうとくのじゅぎょうで、くまもとのおはなし（むかしばなしやくまもとじしんについて）で学習することがありましたか。		A			
	環境教育の充実	生活目標と関連させ、ESDや学校版環境ISOの取組を推進する		B	B+	本年度、お子様は日ごろ、節電や節水に心がけていますか。		B	日ごろの学校生活でせつでんやせつすいに心がけていますか。		B+	B+	→	B+
		校舎内・外の環境美化及び無言清掃指導を推進する		B+					じぶんのみのまわりのせいりや、そうじをがんばっていますか。		B+			
健康教育の推進	体力の向上と運動習慣の育成	体力向上の視点を踏まえた体育・保健体育授業の改善		B+	B+	本年度、お子様は、楽しく体育の学習をしていると感じられますか。		B+	たいいくのじゅぎょうではうんどうのめあてをりかいしてうんどうしていますか。		B+	B+	→	B+
		外遊びの奨励及び縦割り班、学級等集団遊びの時間の設定等を行う		B+		本年度、お子様から異学年の友だちのことを聞く機会がありましたか。		B	学級でそとあそびをすることがありましたか。		B+			
	児童の主体性の向上	健康診断結果の事後措置の徹底（特にう歯治療率の向上のための取組の工夫）を図る		B+	B+	健診で見つかった病気や虫歯は治療できましたか。		B	けんこうしんだんで見つかったびょうきや虫歯はどうしましたか。		B+	B+	→	B+
		「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、望ましい生活リズムの定着を図る		B+		本年度は、ほぼ決まった時間の食事と十分な睡眠は規則的にとれていますか。		B+	ねる時間や起きる時間、ごはんの時間はきまっていますか。		B			
	環境づくりと安全教育の推進	危険予測学習を丁寧に行い、危険予測能力・危険回避能力の育成を図る		B+	B+	本年度子どもたちは危険な場所で遊んだり、危険な遊びをしていませんか		B+	どうろなどのきけんな場所であそんだり、きけんなあそびをしていませんか		B+	B+	→	B+
		関係機関、保護者と連携し、防災主任を中心とした訓練の実施と危機管理マニュアルの見直し		B+		6月に実施した水難引き渡し訓練は、いざというときの意識を高める効果がありましたか。		B+						
	人権教育・啓発の推進	年間計画に基づき、確実かつ心に響く人権学習を推進する		B+	B+							B+	→	B+
		人権教育の推進		B+		本年度、お子様は、相手や周囲の人の気持ちを考えた言葉遣いをしていますか。		B	友だちと話すとき、あいてやまわりの人の気持ちを考えたことばづかいをしていますか。		B+			
		部落差別をはじめとするあらゆる差別事象への適切な対応に向けた実践的な研修の実施		B+										
		特別活動を工夫し互いの思いや考えを伝え合うコミュニケーション力の向上を図る		B+	B+				クラスの係かどうかや、じゅぎょうのはんかどうかで話し合いをしましたか。		B+	B+	→	B+
特別支援教育の充実と授業のUD化	反差別の仲間づくりによるレジリエンスの向上	委員会活動、学級会活動を計画的に実施し、民主的な集団での仲間づくりを推進する		B+		本年度、お子様には新しい出会いにより友だちが増えましたか。		B+	がっきゅうかいほどのくらいひらきましたか		B			
		温かい声掛けなどの行動承認を確実にし自己肯定感の向上を図る		B+		本年度の先生たちは、お子様の努力や成長をみとめ、ほめたり、はげましたりしていましたか。		B+	せんせいは、あなたのがんばりをみとめてほめたり、はげましたりしてくれますか。		B			
		困り感をもつ児童の実態把握・情報共有と適切な合理的配慮の工夫を行う		B+										
	特別支援教育の充実と授業のUD化	ユニバーサルデザインの視点に基づく焦点化・視覚化・共有化の工夫を行う		B+	B+	本年度の先生たちは、お子様が黒板やプリントなどが見やすいように工夫していると感じますか。		A	じゅぎょうちゅう、黒ばんは見やすいですか。		A	B+	→	A
		教育委員会及び専門機関と連携した適切な就学指導及び定期的な学びの場の検討		B										
教育環境整備事例校	主体的な学び 主体的な対話	児童の英語の学習に対する主体的を引き出すことができた		B	B	お子様は、英語の学習が好きですか。		B	えいごをかくしゅうすることはすきですか		B	B	→	B+
		児童の英語を話すことについての抵抗感を少なくすることができた		B		お子様は、英語に対する関心が高いですか		B	えいごをはなすことをにがてにかんじることがありますか		C+			

|